



# 認知症看護認定看護師の役割について

認知症看護認定看護師 聖前 美知子

「認知症」という言葉をテレビや新聞、インターネットなどでよく見たり聞いたりするようになりました。医学的に、認知症とは「いったん獲得した知的機能が、脳の器質性障害によって持続的に低下し、日常生活や社会生活が営めなくなっている状態」とされています。2025年には65歳以上の高齢者の約5人に1人が認知症になると見込まれています。

私は平成30年度に認知症看護認定看護師の資格を取得しました。認知症看護認定看護師の役割は、認知症の方の意思を尊重してその人らしい生活が継続できるように、ほかのスタッフとともに支援することです。当院でも認知症の患者さんが多く入院されるようになり、適切な認知症ケアが行われることを目的として活動しています。

## 主な活動内容

- 認知症から生じる混乱や不安などの症状への対応
- 入院による一時的な混乱や苦痛への対応
- 他職種と連携したケアや療養の場の調整

当院では、平成30年3月から認知症ケアチームの活動を開始いたしました。週1回各病棟へ認知症ケアチームラウンドを行い、病棟スタッフとよりよいケアの調整について意見交換をしています。認知症による症状や意思疎通が困難な患者さんに対して、不安や混乱を最小限にして身体疾患の治療やケアが円滑にうけられることを目指して活動しています。チームメンバーは、神経内科医師、精神科医師、認知症看護認定看護師を含む看護師、社会福祉士、薬剤師、作業療法士、管理栄養士、事務職員など多職種で構成されています。



認知症をかかえることは、これまで出会わなかった不自由を感じるようになります。

- ・ 思い出すことが難しくなってきた、思い出せずに焦ってしまう
- ・ 緊張から疲れやすくなった、いくつかのことを同時に処理することが難しい
- ・ 将来どうなってしまうか心配だが、誰に相談してよいかわからない

このような悩みをおひとりで抱え込んでいませんか。ご本人はもちろんご家族のお気持ちも大切にきめの細かいケアを取り入れながら、最も良いかたちでその人らしい生活が継続できることを目指しています。現在は入院病棟を中心とした活動になりますが、できる限り活動を拡大したいと考えています。

認知症ご本人に向けて書かれた本です。私も愛読しています。

／ オススメの本 ／



(引用参考文献：小澤 勲 黒川 由紀子編著「認知症と診断されたあなたへ」医学書院)